



日本共産党 川口知子 24  
**水害の危険、市民に周知を**

国が荒川水系入間川洪水浸水想定区域図を公表したが、関越道より上流の入間川等で浸水想定を表記がない。市のハザードマップの改善は。

【答建設部長】 水防法の改正により、国が管理する荒川や入間川などの新たな浸水想定区域図が公表されている。このような状況を踏まえ、平成30年度に現在の洪水ハザード



やまびき会 矢部 節 25  
**内水対策の補助制度**

【問】浸水の危険性がある地域の住宅対策として、かさ上げ・盛り土工事費用の一部を補助する制度を新たに設けられないか問う。

【答】栗原副市長 基礎上げ等に対する補助金については、現在、台風第21号に対する初動対応内部検証会議の検証結果を受け設置した「川越市防災体制検討本部」における個

別事項を検討する会議にて「被災者に対する支援制度について」調査、研究を行うこととしている。住宅改修の補助金は、既存の融資制度も含め、先進市の事例を参考に調査、研究していきたい。  
【問】生活困窮者家庭  
【問】内水対策  
【問】運動公園への時計設置  
【問】各種イベントの報道  
【問】企業誘致

## 議場コンサート

2月20日、今定例会の開会日に議場コンサートを開催しました。

今回は、東京国際大学Mellow Dolphin Jazz Orchestraによる、「Without a song」、「Love」、「いつか王子様が」の3曲の演奏が行われました。



## 議会情報

### 今定例会の傍聴人数

傍聴券 No.	
平成30年川越市議会第1回定例会 合計94名の方が傍聴されました。	
開会日	13名
議案上程①	1名
議案上程②	3名
代表質疑	10名
議案質疑①	6名
議案質疑②	3名
議案質疑③	4名
一般質問①	32名
一般質問②	1名
一般質問③	13名
一般質問④	6名
最終日	2名
川越市議会	

次回もお待ちしております

## 編集後記

新緑が芽吹く季節となりました。

第1回定例会は、29日間の会期中で59議案が上程され議決されました。平成30年度川越市一般会計予算では、児童発達支援センター建設、子ども生活実態調査、スクールソーシャルワーカーの拡充など安心して子育てに臨める予算が計上されています。また、新たな交通事業や水害対策事業、笠幡駅周辺整備予算も計上されています。

市民の皆さまにわかりやすい紙面づくりを心掛けていきますので、引き続きご一読くださいますようお願い申し上げます。

(伊藤 正子)



発行 川越市議会  
編集 川越市議会広報紙  
編集委員会  
電話 049-224-6067